

江戸幕藩体制下の法治、及び大学博物館の役割や機能と、地域博物館との関係性や観光動向についての研究

准教授・安 啓明

大学院人文社会科学部(文学系)文化学専攻

▶ 研究内容

江戸幕府および長崎奉行所の司法制度について研究している。長崎奉行所判例集「犯科帳」を通じて、長崎奉行の司法概念や長崎における犯罪性、さらに、公事方御定書の伝播過程も分析している。また、幕府禁教政策の地域展開の実態を、長崎奉行所と九州諸藩との関係性を含めながら検証している。中央と地方を意識した調査研究をおこなっている。

大学博物館の役割や機能、そして、地域博物館との関係性について調査している。日本ばかりでなく、中国や韓国の大学博物館も実踏し、関係者からヒアリングしたうえで精査し、日本の大学博物館との比較検討をおこなっている。実践的な博物館学とは何かを追究している。

また、博物館事業の企画・監修や自治体史の編纂・執筆、古文書調査を行なっている。世界文化遺産登録に関する観光客動向についても調査し、地域と観光、博物館の役割等を講演会や委員会で提言している。



主要な業績

- 『歴史のなかのミュージアム』 昭和堂、 年
- 『日中韓博物館事情』 雄山閣、 年
- 『踏絵を踏んだキリシタン』 吉川弘文館、 年
- 『長崎出島事典』 柊風舎、 年

研究テーマ

- ・江戸幕藩体制下の法治に関する研究
- ・大学博物館の役割や機能、そして、地域博物館との関係性や観光動向についての研究

社会的貢献・活動等

八代市立博物館未来の森ミュージアム協議会委員
天草市立天草キリシタン館運営委員会委員
大田区立勝海舟記念館 旧清明文庫 整備事業運営推進委員会委員 など

所属学会等

歴史学研究会, 日本歴史学会, 法制史学会, 中央史学会

▶ 関連リンク

熊本大学『フィロソフィアの扉』第45回「大学院人文社会科学部 安 啓明准教授」

▶ キーワード

日本近世史・法制史 博物館学 文化財行政 古文書 地域振興 生涯学習

